



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社

コード番号 4507

URL <https://www.shionogi.com>

代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長CEO（氏名） 手代木 功

問合せ先責任者（役職名） 広報部長

（氏名） 京川 吉正

（TEL）06-6202-2161

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	338,347	54.1	146,473	142.4	198,786	165.8	157,773	123.1	157,729	122.2	165,830	105.3
2022年3月期第3四半期	219,626	△2.1	60,422	△42.5	74,784	△37.6	70,731	△20.6	71,000	△20.3	80,790	△16.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	527.81	527.63
2022年3月期第3四半期	235.51	235.43

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,261,616	1,078,526	1,055,240	83.6
2022年3月期	1,150,601	993,285	975,661	84.8

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	60.00	115.00
2023年3月期	—	60.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	421,000	25.6	147,000	33.3	210,000	66.3	170,000	48.9	568.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	311,586,165株	2022年3月期	311,586,165株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	17,279,573株	2022年3月期	10,103,385株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	298,837,625株	2022年3月期3Q	301,477,545株

(注) 期末自己株式数には、シオノギ感染症研究振興財団に係る三井住友信託銀行株式会社の信託口 (再信託受託者: 株式会社日本カストディ銀行 (信託口)) が保有する当社株式 (2023年3月期3Q: 3百万株) が含まれております。また、当該株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2023年3月期3Q: 3百万株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、2023年1月30日 (月) にアナリスト向け説明会を開催する予定です。説明内容 (トランスクリプト) については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上収益	338,347	219,626	118,721	54.1
営業利益	146,473	60,422	86,051	142.4
コア営業利益*	144,029	61,917	82,112	132.6
税引前四半期利益	198,786	74,784	124,002	165.8
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	157,729	71,000	86,728	122.2

※ 会社の経常的な収益性を示す利益指標として「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。「コア営業利益」は、営業利益から非経常的な項目(減損損失、有形固定資産売却益等)を調整した利益となります。

売上収益につきましては、前年同期比54.1%の増収となりました。COVID-19関連製品につきましては、厚生労働省と締結した国内供給に関する契約に基づき、日本国政府によるCOVID-19治療薬ゾコーバの200万人分の購入が行われ、1,000億円の売上収益を計上しました。国内医療用医薬品の売上収益につきましては、インチュニブの売上収益が拡大しましたが、サインバルタの後発品参入の影響及び第2四半期に発生したゾフルーザ、ラピアクタの返品による売上収益の減少により前年同期比21.4%の減収となりました。海外子会社及び輸出の売上収益につきましては、前第1四半期に米国においてFORTAMETの販売権等の移管に関する一時金を受領した影響を受けたものの、多剤耐性グラム陰性菌に効果を示すセフィデロコル(米国の製品名:Fetroja、欧州の製品名:Fetroja)が欧米で引き続き好調に推移した結果、前年同期比16.9%の増収となりました。ロイヤリティ収入につきましては、ドゥベイト、カベヌバなどを中心にヴィーブに導出したHIVフランチャイズの売上が伸長したことや為替の影響により前年同期比28.7%の増収となりました。

利益面につきましては、COVID-19に対する治療薬、ワクチン等の最優先課題や注力プロジェクトへの投資により研究開発費が増加しましたが、前述の売上収益の増加により、営業利益は前年同期比142.4%と大幅な増益となりました。コア営業利益は、第2四半期に発生した投資不動産の売却益をはじめ非経常的な項目を調整した結果、前年同期比で132.6%の大幅増益となりました。税引前四半期利益につきましては、ヴィーブによるHIVフランチャイズの売上が順調に伸長したこと、ヴィーブがギリアドとの訴訟の和解に伴う一時金を受領したことによる配当金の増加、前第4四半期に受領予定であったヴィーブからの配当金を第1四半期に受領したことにより、前年同期比165.8%の増益となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、前第1四半期に大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を受領した影響により、前年同期比122.2%の増益となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1兆2,616億16百万円で、前連結会計年度末に比べて1,110億14百万円増加しました。

非流動資産は、仕掛研究開発資産等の無形資産の増加により5,120億64百万円となり、前連結会計年度末に比べて206億68百万円の増加となりました。流動資産は棚卸資産の増加、営業債権の増加、現金及び現金同等物、3ヶ月超の定期預金及び債券(流動資産のその他の金融資産に含みます)の増減等の結果、7,495億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて903億46百万円増加しました。

資本については1兆785億26百万円となり、四半期利益の計上、配当金の支払、自己株式の取得、在外営業活動体の外貨換算差額(その他の資本の構成要素に含みます)の増加及び子会社における第三者割当による非支配持分の増加により、前連結会計年度末に比べて852億41百万円増加しました。

負債については1,830億89百万円で、前連結会計年度末に比べて257億73百万円増加しました。

非流動負債は、377億67百万円で、前連結会計年度末に比べて48億47百万円の増加となりました。流動負債は1,453億22百万円で、前連結会計年度末に比べて209億26百万円の増加となりました。

## (3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益の計上、ヴィーブからの受取配当金の増加、営業債権の増加及び棚卸資産の増加等により、前年同期に比べ396億77百万円多い1,163億87百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形資産の取得、定期預金の増減等により、前年同期に比べ386億65百万円少ない792億98百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、子会社における第三者割当による増資があった一方で、自己株式の取得による支出の増加により、前年同期に比べ478億99百万円多い836億33百万円の支出となりました。

これらを合わせた当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は357億51百万円の減少となり、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、2,186億69百万円となりました。

## (4) 今後の見通し

最近の業績動向等を踏まえ、2022年10月24日に公表しました2023年3月期の連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

## 1. 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	410,000	120,000	174,000	142,000	471.58
今回修正予想 (B)	421,000	147,000	210,000	170,000	568.87
増減額 (B-A)	11,000	27,000	36,000	28,000	—
増減率 (%)	2.7	22.5	20.7	19.7	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	335,138	110,312	126,268	114,185	378.75
(ご参考) 対前年増減率 (%)	25.6	33.3	66.3	48.9	—

## 2. 業績予想修正の理由

当第3四半期連結累計期間において、ヴィーブによるHIVフランチャイズの売上がドゥベイト、カベヌバなどの新製品を中心に大きく伸長し、ロイヤリティ収入及び受取配当金が従来予想を超過しました。また、欧米におけるセフィデロコルの販売を含むベースビジネスは堅調な推移を示しております。

さらに、年間の研究開発費として過去最大規模となる先行投資を続けてきたゾコーバにつつまして、2022年11月22日付で国内の製造販売承認を取得し、日本政府との間で計200万人分の購入契約を締結しました。COVID-19関連製品の収益については、承認取得時期や購入量など不確定な要素が多く、原価、販売費・一般管理費などの費用面を中心に保守的な予想を算出していたため、各利益項目が従来予想を上振れる見込みです。ゾコーバのグローバル展開については、開発や生産体制の構築、提供に関する各国政府との協議も順調に進展しており、さらなる増収も期待されます。

また、成長投資として当期に一定額の投資を見込んでおりましたが、COVID-19関連事業を優先しているために一部が次年度に移行し、販売費・一般管理費が減少する見込みです。一方で、COVID-19関連プロジェクトを含む今後の成長ドライバーへの投資は引き続き積極的に行っていくことから、研究開発費は増加する見込みです。これらの経費は引き続き全体として適正にコントロールしてまいります。

以上の結果、売上収益及び各利益項目について2022年10月24日に公表した業績予想を上方修正いたします。修正予想においては、売上収益及び各利益項目はいずれも対前年比で増収増益となる見込みです。なお、今回修正を行った業績予想を達成した場合には、売上収益及び各利益項目はいずれも創業以来の最高業績となります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	219,626	338,347
売上原価	△39,853	△44,566
売上総利益	179,772	293,781
販売費及び一般管理費	△66,542	△70,686
研究開発費	△48,219	△74,808
製品に係る無形資産償却費	△2,479	△2,874
その他の収益	1,741	3,632
その他の費用	△3,850	△2,570
営業利益	60,422	146,473
金融収益	15,017	53,140
金融費用	△655	△827
税引前四半期利益	74,784	198,786
法人所得税費用	△4,052	△41,013
四半期利益	70,731	157,773

四半期利益の帰属		
親会社の所有者	71,000	157,729
非支配持分	△269	43
四半期利益	70,731	157,773

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	235.51	527.81
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	235.43	527.63

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	70,731	157,773
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する ものとして指定した資本性金融商品の公正価値 の純変動額	△6,106	△768
確定給付制度の再測定	828	△1,265
純損益に振り替えられることのない項目合計	△5,278	△2,034
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	12,500	8,615
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	2,836	1,476
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	15,337	10,091
税引後その他の包括利益合計	10,058	8,056
四半期包括利益	80,790	165,830

四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	80,642	164,133
非支配持分	147	1,696
四半期包括利益	80,790	165,830

## (2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	108,893	110,309
のれん	9,638	10,075
無形資産	81,223	108,208
使用権資産	3,524	5,671
投資不動産	26,672	25,617
その他の金融資産	242,479	236,271
繰延税金資産	12,907	9,660
その他の非流動資産	6,055	6,250
非流動資産合計	491,396	512,064
流動資産		
棚卸資産	45,892	58,688
営業債権	122,965	164,334
その他の金融資産	210,757	273,396
未収法人所得税	51	24
その他の流動資産	25,117	34,437
現金及び現金同等物	254,420	218,669
流動資産合計	659,205	749,552
資産合計	1,150,601	1,261,616



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資本及び負債		
資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	14,455	15,204
自己株式	△57,857	△89,349
利益剰余金	832,958	937,461
その他の資本の構成要素	164,824	170,645
親会社の所有者に帰属する持分	975,661	1,055,240
非支配持分	17,624	23,286
資本合計	993,285	1,078,526
負債		
非流動負債		
リース負債	3,729	5,879
その他の金融負債	5,616	4,792
退職給付に係る負債	15,412	17,505
繰延税金負債	7,807	8,254
その他の非流動負債	354	1,335
非流動負債合計	32,920	37,767
流動負債		
リース負債	2,945	2,778
営業債務	16,372	16,780
その他の金融負債	22,027	19,406
未払法人所得税	17,973	31,020
その他の流動負債	65,078	75,336
流動負債合計	124,396	145,322
負債合計	157,316	183,089
資本及び負債合計	1,150,601	1,261,616

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	資本合計
2021年4月1日残高	21,279	13,733	△57,989	752,248	116,836	846,108	18,442	864,550
四半期利益				71,000		71,000	△269	70,731
税引後その他の包括利益合計					9,642	9,642	416	10,058
四半期包括利益	-	-	-	71,000	9,642	80,642	147	80,790
自己株式の取得			△10			△10		△10
自己株式の処分		△5	147			141		141
配当金				△33,162		△33,162		△33,162
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				828	△828	-		-
その他		955		△5		949	△949	-
2021年12月31日残高	21,279	14,683	△57,853	790,909	125,650	894,670	17,639	912,309

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	資本合計
2022年4月1日残高	21,279	14,455	△57,857	832,958	164,824	975,661	17,624	993,285
四半期利益				157,729		157,729	43	157,773
税引後その他の包括利益合計					6,404	6,404	1,652	8,056
四半期包括利益	-	-	-	157,729	6,404	164,133	1,696	165,830
自己株式の取得			△49,415			△49,415		△49,415
自己株式の処分		31	170			202		202
信託への自己株式の処分		△17,749	17,752			3		3
配当金				△36,156		△36,156		△36,156
支配継続子会社に対する持分変動		748				748	3,965	4,714
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				583	△583	-		-
その他		17,717		△17,653		63		63
2022年12月31日残高	21,279	15,204	△89,349	937,461	170,645	1,055,240	23,286	1,078,526

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	74,784	198,786
減価償却費及び償却費	12,029	12,950
減損損失	135	-
金融収益及び金融費用	△14,626	△53,546
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,283	△40,623
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,195	△12,450
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	6,152	13,408
その他	10,324	△11,733
小計	84,319	106,791
利息及び配当金の受取額	18,972	37,694
利息の支払額	△131	△56
法人所得税の支払額	△39,715	△28,042
法人所得税の還付額	13,264	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	76,709	116,387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△256,331	△339,308
定期預金の払戻による収入	188,901	264,372
有形固定資産の取得による支出	△17,579	△10,122
無形資産の取得による支出	△3,890	△24,366
投資の取得による支出	△89,796	△60,637
投資の売却及び償還による収入	61,300	86,964
その他	△566	3,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,964	△79,298

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△2,556	△2,650
自己株式の取得による支出	△10	△49,535
配当金の支払額	△33,166	△36,164
非支配持分からの払込による収入	-	4,714
その他	-	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,733	△83,633
現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,097	10,793
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74,890	△35,751
現金及び現金同等物の期首残高	276,173	254,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	201,282	218,669

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。